

中信高校山岳部かわらばん

編集責任者 大西 浩

池田工業高等学校

ライチョウ観察会 by 横内佳代先生

3月17日(土)～18日(日)、長山協自然保護委員会主催の「積雪期ライチョウ観察会」があり参加してきた。自分とはとにかく動物が大好き、ライチョウが大好き、従って昨年の秋の観察会も参加し、今回も楽しみにしていた。が、天気予報がよろしくない。金曜日あたりに「中止」の連絡があるのかな、なんて思っていたが、予定通り決行の様。内心、個人山行だったら絶対こんな天気の日には行かないよな～とか思っていた。乗鞍へ向かう道中はどしゃ降り、スキー場の駐車場に着くころには湿雪になっていた。ただ、この雪はスキーで移動するには快適ではあった。位ヶ原山荘について休憩した後、空身でライチョウ観察に出かけたが、吹雪も気にならないほどにライチョウ探しに夢中になってしまった。ライチョウの雄の集団や、さっきまで潜っていたと思われる雪穴(糞がいっぱい残っていた)などを観察する。



そのあと夕食までの時間、山荘の談話室にて、信大の中村浩志先生、助手で院生の小林篤さんのライチョウ研究に関する興味深いお話を、たくさんの写真やデータを元に聞かせていただいた。日本のライチョウは年に三回換羽すること、白山で見つかった雌のライチョウは、先生と小林さんで足環をつけてきて観察が続いていることや、北アルプスから移動したものであることが血液検査等でわかった、という今回新しい研究結果が興味深かった。位ヶ原山荘は初めて泊まったが、鹿鍋にシメはうどんという豪華な食事に加え、温かい布団で眠れて快適そのものだった。

翌朝、昨夜の湿雪はカチカチのアイスバーン。一晩で全く雪が変わってしまう。スキー班のメンバーが次々滑り落ちるのを見て、これはヤバイ、自分の力量にあわせて登ろうと決めた。たとえ登れても降りられないということも十分にありうる状態。「こっちにライチョウが居ます」と声がしても、斜面状況によっては観察を断念しようと思った。幸い、至近でつがいのライチョウ(写真上)を観察できたのでラッキーだった。ライチョウは冬の間、雄と雌は別の場所に生息しており、つがいで居るというのは、この時期としては大変珍しい光景だそう。雄には中村先生がつけた足環がしっかりついていて、木の枝に停まっているという珍しい姿も観察できた。(以下略、注〔お断り〕を参照願います)

注〔お断り〕:長野県山岳協会主催のこのライチョウ観察会では、このあと2件の事故が発生しました。幸い命に別状はなかったものの、お二人の方が怪我を負いました。長

山協の役員としてこの場を借りてお二人の方にお見舞い申し上げますと共に、ご心配をおかけした参加者また関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。横内さんには怪我をされた方に付き添って病院までご足労いただくなど色々ご心配をいただきました。そんなこともあって横内さんはこの間の経過についても、この記事に続けて書いて下さっています。このライチョウ観察会が長野県山岳協会の主催事業の中で起こったことですので、長山協では事故を重く受け止め、安全登山の観点から検討をしているところです。したがってその部分につきましては、調査検討をしっかりとした上で、みなさんにお知らせしたいと思っています。

池工山岳部、冬の上高地散策

池工山岳部の2011年度の締めめの山行は、一泊2日で雪洞泊をしながら乗鞍へと目論んでいたのだが、予定していた2日目の悪天が予測されたので、そんな時に行くこともあるまいと言うことで急遽予定を変更。日帰りの上高地へ行くことにした。今回は生徒の記録を載せてみたい。1年生のS君の記録である。



3月30日に先生二人と生徒4人で上高地に行った。まずタクシーで釜トンネルの入り口まで行った。トンネルの中は大きなトラックが何台も行き来しており、少し危なかった。その後約30分くらいでトンネルを出て、大正池までしばらく歩いた。途中小さな虫がたくさん飛んでいてとても邪魔だった。大正池を少し過ぎたところで、約10分程度休憩し、みんなコンパスを頼りに西へ200歩歩いた。その時歩幅によって人それぞれバラバラになることを学んだ。それからさらに方角を決めて400歩程進み、田代池を目指した。田代池から見た穂高岳はとてもキレイだった。その後河童橋を目指して少し歩き、そこで昼食を食べた。ラーメンを作ったが、チャーシューや煮玉子をトッピングしたのでとても美味しくなった。河童橋近くにある清水川は大西先生によると上高地の旅館の水源になっている川だということだったが、とてもキレイで飲んでみると冷たくておいしかった。

昼食を食べた後、先生にお願いしてワカンをつけて歩いた。(注、今回ワカンを付けるほどの雪ではなかったが、S君はここ2回事情でクラブ山行に参加できずワカンをつけて歩いたことがなく、一度使いたいということだった)初めてのワカンにテンションが上がったが、しばらく歩くと雪がなくなってきた、限界を感じたので外した。ウェストンの碑から暫く歩くとサルがたくさんいて、とても可愛らしかった。サルを写真に撮り釜トンネルに向けて出発した。トンネルを出たあとは、またタクシーに乗り沢渡まで移動した。最後は温泉に入ったが、露天風呂がありとても心地よく、風呂上がりのガリガリ君もとてもおいしかった。今回の散策では上高地の自然を体験できてとてもよかった。体力的にも苦しくなかったし、また行きたいと感じた。